

嚥下(えんげ)機能の低下を調べる嚥下造影検査

「最近、食事中にむせることが増えた」
「うまく飲み込めない気がする」など、食べ物を飲み込むことに不安を感じることはありませんか？

このような症状は、嚥下機能（飲み込む機能）が低下しているサインかもしれません。飲み込みがうまくできない状態が続くと、食べ物などが気管に入りやすくなり、誤嚥性肺炎など、様々な健康上の問題につながる可能性があります。

当院では、患者さんが安全に食事を楽しめるよう、飲み込みの力を専門的に調べる嚥下造影検査（VF: Video Fluoroscopy）を実施しています。



嚥下(えんげ) 造影検査とは？

X線透視装置を使い、食べ物や飲み物が口から喉、食道へと流れる様子を動画で確認する検査です。飲み込みのどの段階で問題が起きているかを正確に把握することで、患者さんに合った食事の形態や、安全に食べるための方法を見つけることができます。

当院では、医師、言語聴覚士、看護師、放射線技師が連携して検査を行います。

ご希望の際は、かかりつけ医にご相談のうえ、当院の地域医療連携室までお問い合わせください。

1. 受付 嚥下外来【予約制】 木曜日 午後 予約時間にお越しください。

受付後、採血、胸部レントゲン、胸部CT（必要時）を実施します。

2. 検査

検査時間になったら、専用の台に座っていただきます。バリウム（造影剤）の入った様々な検査食を、ご自身または、看護師のサポートで食べていただきます。

検査食：ミキサー食、ソフト食、軟菜、常食、トロミ付きの飲み物など

3. 検査中

医師と言語聴覚士が隣室のモニターで動画をリアルタイムで確認し、必要に応じて看護師が吸引等のケアを実施します。

4. 結果の説明

検査は30分程度で終了します。

終了後、患者さんやご家族に検査結果を説明し、最適な食事方法や姿勢、訓練方法について具体的にご提案します。

この検査を通して、患者さんが安心して、そして美味しく食事ができるお手伝いをさせていただきます。

湯布院病院 情報発信中！



SNS 担当者



独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

Yufuin Hospital

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

〈代 表〉

TEL:0977-84-3171・FAX:0977-84-3969

〈地域医療連携室直通〉

TEL:0977-84-5277・FAX:0977-84-5890

<https://yufuin.jcho.go.jp>

湯布院病院

検索



JCHO 湯布院病院 季刊広報紙

Japan Community Healthcare Organization
Yufuin Hospital

ゆふいんだより

秋号 2025年10月発行



「ゆふぽん」



午前 10 時 45 分、11 時 15 分に
治療体操訓練士による体操実施中！

開催日：毎週月曜、水曜、木曜

開放時間：午前 10 時 30 分～ 11 時 45 分

利用料金：1 回 550 円

回数券：5,500 円 11 回分 1 回分お得！

JCHO湯布院病院プール利用回数券 (10回+1回：5,500円)			
様			様
001	002	003	004
005	006	007	008
009	010	011	

(表) 温泉プール利用回数券 (裏)

事務長挨拶

本年4月、湯布院病院事務長を拝命いたしました齊藤 篤志と申します。

湯布院病院は、奈良時代から温泉地として知られる自然豊かな由布院盆地にあり、このような土地で地域医療の一翼を担う重責に身が引き締まっております。

私たちは、「地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」というJCHOの理念をもとに、病院として「地域で人々が幸せに暮らしていくために、リハビリテーションを核とした地域医療を推進します。」と理念を掲げ、「患者さん・利用者さんとそのご家族のために」、「職員の幸せのために」、そして「地域のために」を基本方針にしております。「地域のために」なにができるか、「私達に求められているものは何か」を常に考え、医療・介護を提供すべく日々努力しております。なにかお困りごとがあればいつでもご相談ください。居宅介護支援センターや訪問看護ステーションも併設し、微力ながら地域に貢献して参る所存です。皆様の温かいご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

余談ですが、今回、着任してすぐに「湯布院」と「由布院」の違いについて調べてみました。もともとは「由布院町」であったこと、昭和の大合併時に湯平町と一緒に「湯布院町」になったこと、その後、狭間町と庄内町と一緒に「由布市」になったことを知りました。そんな歴史ある湯布院を大切に、『地域』に愛される病院運営を目指します。



JCHO 湯布院病院
事務長 齊藤 篤志



ゆふぽんが安心を届ける！ 当院の訪問車が地域を駆け巡ります



在宅訪問



訪問看護ステーション



ケアマネジャー

当院の訪問看護師やケアマネジャーなどが、ゆふぽんを載せたマグネットシートを光らせながら地域を走り回っています。ゆふぽんの親しみやすさと共に、病院の活動をより身近に感じていただくことを目指しています。地域の方々の「もしも」の時に、すぐに当院を思い出していただけるよう、安心の目印としてこれからも活動していきます。街で見かけたら、ぜひお気軽にお声がけください！

「患者さんの声」から改善しました！

患者さんに、より快適な療養生活を送っていただくために、病院内に設置したご意見箱の用紙を回収し、いただいた貴重なご意見を真摯に受けとめています。患者さんの「こうなったら嬉しい」という声は、私たちにとって病院をより良くしていくための大切なヒントです。今回は、実際にいただいたご意見と、それに対する改善内容をご紹介します。

「東の湯の浴室のシャワーチェアが古く、座りにくいです」

このご意見を受け、患者さんが安心して入浴できるよう、東の湯の浴室のシャワーチェアを新しいものに交換しました。新しいシャワーチェアは、安全性が高く、座り心地の良い製品を複数検討し、リハビリテーション専門職の意見も参考に選定しました。これにより、より快適な入浴時間を提供できるようになりました。



今後も、皆様からのご意見を大切に、より良い病院づくりに努めてまいります。

お気づきの点がありましたら、ご意見箱にお寄せください。
皆様の声をお待ちしております。

より良い医療のために、あなたの声をお聞かせください

毎年10月に全国のJCHO病院で一斉に患者満足度アンケートを実施しています。病院職員の対応、療養環境、外来での待ち時間などについて、アンケートへのご協力お願いいたします。いただいたご意見は、今後の病院運営に活かします。結果は外来の掲示等で公表予定です。

健康づくりをサポート！ 外来栄養指導のご案内

栄養管理室



「どんな食事をしたらいいのかわからない」
「病気と食事の関係を知りたい」--- そんなお悩みはありませんか？

湯布院病院では、患者さん一人ひとりの生活習慣や病態に合わせた外来栄養指導を行っています。管理栄養士が直接お話を伺い、無理なく続けられる具体的な食事内容や生活習慣のアドバイスを提供することで、皆様の健康維持や病気の予防・改善をサポートいたします。

健康づくりは毎日の食事から始まります。この機会に、私たちと一緒にご自身の食生活を見直してみませんか？

■栄養指導の対象となる主な疾患

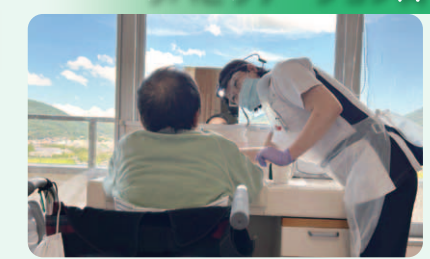
高血圧症、慢性心不全、腎不全、肝硬変、糖尿病、胃潰瘍、鉄欠乏性貧血、高度肥満、脂質異常症、痛風など

■ご利用方法

外来栄養指導をご希望の方は、主治医または外来看護師まで遠慮なくお申し出ください。

歯科衛生士がサポートする 入院中の口腔ケア

リハビリテーション科



近年、高齢者の栄養管理や誤嚥性肺炎の予防において、口腔ケアの重要性がますます高まっています。

口の健康は、単に歯の問題だけでなく、全身の健康と深く関わっているからです。湯布院病院では、リハビリテーション科に所属する歯科衛生士が、専門的な視点から患者さんの入院生活をサポートします。

＜歯科衛生士の主な業務内容＞

入院早期から、お口の中の状態を詳しく拝見し、一人ひとりに合わせたケアを行っています。

■術前の口腔ケア

全身麻酔での手術を控えた患者さんの口腔内を専門的に評価・清掃し、手術後の合併症リスクを減らすようサポートします。

■専門的な口腔ケア

歯ブラシだけでは届きにくい部分の汚れを徹底的に除去し、肺炎などの合併症リスクを減らします。

■お口のトラブル対応

入れ歯の不具合や歯周病、虫歯など、お口のことでお困りの際は、地域の歯科医院と連携して速やかに対応します。

■退院後の生活支援

ご自宅に戻られてからも、健康な口内環境を維持できるよう、患者さんやご家族に合わせたアドバイスや指導を行います。



訪問歯科診療

医師や看護師、言語聴覚士など、多職種のスタッフと連携しながら、患者さんのQOL（生活の質）向上を目指します。お口に関するご相談がありましたら、どうぞお気軽に歯科衛生士、病棟スタッフにお声がけください。